

T-magazine

生徒主体で ここまで できる!?

一つの教科には必ず熱い
ドラマがあった

英語と体育

生徒の主体性から
生まれるものとは

たまフェス

10期生を就労に導いた
学年チームが振り返る

キャリア教育

福祉・園芸科を解明

職業教育

by Head teacher

Greeting

本校が、府立学校で初めての職業学科を設置する知的障がいのある生徒のための高等支援学校としてスタートしてから早くも13年が過ぎようとしています。

開校当初から「知的障がいのある生徒の就労を通じた潤いのある社会的自立」を教育目標に掲げ、教育活動を続けてきました。この間、生徒の就労への意欲と豊かな成長、保護者の社会的自立への切なる願いと教育活動へのご理解とご協力、地域、関係機関、企業、事業所さまの暖かいご支援のもと、1期生から現在に至るまで、90%前後の高い就労率を実現してきました。

パイロット校としての船出でしたので、教職員も試行錯誤を続けながら、生徒たちへの熱い思いと使命感のもとで、ひたすら前を向いて進んできたように感じています。

現在、本校と同様の職業学科を設置する府立高等支援学校も5校となりました。少しずつではありますが、知的障がいのある生徒の就労を通じた社会参加の機会も年々拡大してきたようです。

このような中、私は「本校に求められるものは何か!」を常に問い続けることが重要だと考えています。本校の卒業生がその豊かな個性と能力を発揮し、知的障がいのある生徒の就労を通じた社会参加の機会を広げてきたように、我々もこれまでのノウハウを活かしつつ、「フロンティア精神」を維持し、「イノベーション」の考え方を育む職員集団であり続けたいと思っています。

このT-magazineについても、そのような思いを込めて作成しています。ご一読いただき、『たまたがわの今』と『たまたがわの未来』をお感じいただければ幸いです。今後とも、本校の教育活動へのご意見はもとより、卒業生を含む本校生徒への暖かいご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

大阪府立たまたがわ高等支援学校

校長 長谷川 陽一
Head teacher Hasegawa Yoiti



ACCESS

大阪府立たまたがわ高等支援学校

〒578-0925

大阪府東大阪市稲葉2-3-25

Tel: 072-961-4730

Fax: 072-961-4788

HP: www.osaka-c.ed.jp/tamagawa-ks/

MAP



○近鉄奈良線「河内花園」北へ1km ○近鉄けいはんな線「吉田」南へ1.5km
○近鉄バス萱島線「菱江」東へ700m ○近鉄バス吉田線「稲葉町二丁目」東へ150m

Horticulturist

♡ 園芸分野

大地と向き合い愛でる 枝豆づくり

スーパーで何気なく売られている野菜。こんなにも手間や愛情が込められていたなんて。種から育てあげ、自然と格闘してやっと収穫までできた!おいしさに決まってる!



土や草木にふれて、虫たちの生活を垣間見て、自分の手で一から育てる楽しさを知ることができる。また、育てた物を収穫し、調理して美味しく頂く瞬間に達成感も味わうことができるのは園芸科の授業でしか味わうことができない!

枝豆づくり 種まき・収穫・販売まで一貫して体験。



一粒ずつ丁寧に小さな種子を土の中に入れる。育つかどうかドキドキ。



ドキドキしながら、種まきをしたものがグングン育て収穫!みんな笑顔で収穫作業。



収穫し、袋詰め作業。早く持ち帰って食べたいという生徒もいれば、今ここで食べたいという生徒。丁寧に世話を頑張ってきた分、収穫のときの喜びは大きい!作業は大変だが、その分楽しいことがあることを知れるのが園芸である。

自分たちが育てた野菜や花がたくさん収穫できたら、地域の方へ販売して喜びのおすそわけ。

Welfare

♡ 福祉分野

介護される立場から考える 高齢者体験

高齢者の気持ちで介護する側からはなかなか理解しにくいもの。器具を使って、日常の動作がこんなに負担のかかるものだったなんて初めて知りました。



高齢者疑似体験装具の白内障疑似体験ゴーグル、重り、肘サポーター、手袋などを装着して、日常生活動作を擬似的に体験することにより、加齢による身体的な変化を知ることができる。高齢者の気持ちや介護方法、高齢者とのコミュニケーション方法を体験的に学ぶ。

体験メニュー 聞こえにくさ・見づらさ・動きにくさを体感。



白内障疑似体験ゴーグルとヘッドホン型耳栓を着用。聞こえにくさを確認する。



ヘッドホンをすると本当に聞こえにくい。



ベッドから起き上がるのも一苦労。体験して初めて分かる!



高齢者疑似体験装具で体験的に学ぶことで、加齢による高齢者の身体や気持ちの変化を理解する手助けとなり、援助者としてどのように援助をしたら高齢者が安全な生活を送ることができて、自分の持つ力を発揮し続けることが出来るかを知ることが出来る。体験を通して高齢者への「思いやり」や「気遣い」、「助け合い」の心を育むことができる。



CAREER EDUCATION

by 10th Chief

独占取材

たまがわが
一番に
厳しいところです(笑)

「社会をたくましく生き抜くために」

進路支援部 学年進路チーフ(10期生) 渡邊 恵

進路指導での困難はありましたか？

実習や授業で失敗したときや、困難に直面したときに「自分なんて・・・」と自信をなくしたり、「また失敗したらどうしよう・・・」と再挑戦する気持ち無くしたりする生徒が多かったです。社会に出たらつまづくことは沢山、そんなときも負けてたまるか！自分ならできるんだ！と彼らが心の中で自分を奮い立たせるために、何度も学年全体や生徒個人に対して本気で話をしたことを覚えていきます。

キャリア学習で実践したことは？

「一緒に働きたいと思ってもらえるために」をテーマに3年間、挨拶練習やメモとり、課題別学習、職場でのマナーなど様々なことを行いました。受身の学年から脱却するためにも、「自分が会社の人の立場だったらどう思うか」ということを3年間常に全体に問いかけて、生徒一人ひとりがじっくり考える機会を大切にしました。

10期生への思いを聞かせてください

時につまずき、心折れそうになったときも負けてたまるか！自分ならできるという強い信念と、惜しまない努力で厳しい社会をたくましく生き抜いてほしいと思っています。

interview

10期生の様子はどうでしたか？

全体的に大人しい学年だと感じました。自分たちから積極的に意見を言うのではなく、話をずっと聞いているような「受身の姿勢」が多いと感じました。だからこそ本当に自分たちの伝えたいことを理解してくれているのかどうか不安になることも多かったです。

進路指導で意識していたことは？

学校の方が過ごしやすかった。先生も優しくかった。だからこんな社会は嫌だと思おうではなく、学校の方が厳しかったから、今の社会で頑張れる！と卒業後に思えるよう、在学中は厳しい指導をたくさん行いました。助けてもらえて当然ではなく、自分で課題や困難を乗り越えられるようにたとえ失敗したとしてもそこからどう努力して克服するのかを学ぶ機会も多かったと思います。



学年やクラブにおける様々な舞台発表は、会場を大いにもりあげてくれます。



今年で13回目を迎えるため、地域の方のご支援もあり徐々に、地域の行事として定着しつつあります。毎年の美味しい商品たちは、すぐに売り切れてしまうものもあるのでお早めにお買い求め下さい。



自分たちで一から育てる本校の野菜たちですが、この笑顔にお客様もついつい買ってしまうのかもしれない。



舞台発表では、生徒会の生徒たちが大活躍してくれます。アドリブのインタビューで、皆がほっこりする笑いも。

Tama Fes

たまがわフェスティバル

生徒主体でここまでできる!

たまがわフェスティバル(文化の部)では、午前には保護者・卒業生を対象に学年やクラブの舞台発表があり、午後には一般の方も対象とした専門分野それぞれの商品などを販売しています。生徒一人ひとりが、役割を持ち、お客様に対して主体的に活動することで来てくださるお客様にも喜んでいただける本校最大のイベントになっています。



あったか亭(ラーメン)では、約300食の大量調理をしています。長蛇のお客様を待たせないため、それぞれが声を掛け合いながら作業に取り組みます。



自分たちで作った木工品を買っていただけるよう、商品説明をしています。



福祉で習得したハンドケアでは、お客様と会話をしながら、リラックスしてもらえるよう心がけています。

午後からの一般公開では、お客様に喜んでいただけるように丹精こめて作ってきた商品や野菜、そして接客練習など、時間をかけて一つの行事を生徒たちで作りに上げていきます。この日を迎えるまでにたくさん苦労したこともありますが、皆さんの笑顔やありがとうの言葉に生徒たちは、働く喜びや人の役に立つというやりがいを見出していくのかもしれない。



Physical training

一瞬一瞬に全てをかけて。

一人だけでは、表現することができない

3年生の**集団演技**。

半年以上の時間を費やしたその日

拍手の嵐がまきおこる。

11期生の「集団演技」

1曲めは「Put your Fuck」という曲でダンスを行い、2曲めは「ライオン」という生徒からのリクエスト曲で扇子を使って演じました。

最後の3曲めは「情熱大陸」の曲に合わせて「集団行動や、組体操を行い、最後には人文堂で「TAMAGAWA」を作りました。

1曲めに取り組み始めた頃は恥ずかしさがありました。練習を重ねて「かっこいいダンス」を全員で息を揃えて踊ることができました。

2曲めでは、扇子の向きや前後の動きをきつちりと揃えることが大変でしたが、「ダイナミックな動き・組体操」を披露することができました。

3曲めの「集団行動」は、全員で足並みを揃え、方向変換をすることに苦労しましたが、「ダイナミックな動き・組体操」を披露することができました。

練習期間には、大切な職場実習があり、全員で練習できたことはありませんでした。しかし、毎回の授業に集中して取り組み、互いに声をかけあいながら見事本番で成功させることができました。

その要因は11期生の「集団の力」を発揮できたからだと思えます。

これが真の「集団演技」。

信念から学ぶ。

English

ただ、単語をおぼえる。

ただ、文法をおぼえる。

私たちがおぼえるのは
英語で外の世界を、考えを
知るためだ。

偉人の気持ちで英文を読む！

本校の英語は、最初にローマ字・アルファベット・筆記体から始め、教科書を使って生活に出てくる単語・基本的なフレーズを覚え、英語嫌いを減らし楽しく役に立つ身近な英語で自分の意見を表現できる授業を目指しています。

2年生は後期からマララ・ユスフザイさんのノーベル平和賞の授賞式で発表された文「ペンと本で世界は変わる」、3年生はリンカーン大統領の「ゲティスバーグ演説」「トップアスリートの名言」を暗唱します。文の中は今まで見たことがない難しい単語や読みもあり、戸惑う生徒たちがほとんどです。

それでも教員の説明を聞き、意味を考え、理解しながら、諦めずに文章に向き合います。ペアで音読活動に取り組み、何度も声に出して練習します。最後は、みんなの前で発表します。英語がスラスラ言えるようになった経験は彼らに大きな自信をあたえるのです。



Pack Tour

どこに行き何をするのかクラスで決めるツアー

ど た ば た 珍 道 中

本校には、「バックツアー」という行事があります。このバックツアーは、たまがわ高等学校の開校当時から行われている行事です。クラスが1つの旅行社となり、1日の工程を考え、どこに行くか、どの公共交通機関を使うか、昼食はどこで食べるかなどを決められた金額の中で、クラス全員で考える行事です。このバックツアーには、卒業後の余暇活動を充実させるという目的もあります。

3年生になれば、自分たちで決めた時間や電車を間違えずに集合したり、みんなで目的地まで向かうこともできますが、そうなるまでにはたくさんの苦勞もありました。

そんな苦勞を乗り越えた、3年生のバックツアーの様子を紹介します。

バックツアーにはハプニングがつきものです。みんなでしっかりと考えた工程のつもりが、いざ、当日になってみると時間の余裕が全くありませんでした。見学先の会社から、食事場所までも時間がギリギリで会社の方にあいさつをした後、すぐに全員で早歩きで移動しました。おいしい回転寿司を食べた後も余韻に浸る暇ありませんでした。次のアミティー舞洲の予約時間に間に合わないかもしれないので、おなかいっぱいの中、今度はみんなで目的地まで走りました。楽しく充実した一日でしたが、予定の詰め過ぎには注意しなければいけないということも学んだ一日でもありました。

体育委員

体育委員は、体育の授業で活躍の場を広げています。その中でも、「たまフェス体育の部」での会場準備、当日の仕事として、開閉会式の役割、審判係、用具係にわかれ、成功の鍵を握る重要な仕事を担っています。

たまフェス体育の部に向けて練習が始まれば、紅白で決めた開閉会式の役割を意識し、練習に取り組みます。事前の会場準備では、全体の会場準備をスムーズに行うため放課後の時間を使いテント設営などの重要な準備をしています。予行では、審判係はスタート、ゴールテープ、着順判定、誘導、用具係は用具配置の場所、タイミングの最終確認を行います。今年度の「たまフェス体育の部」も体育委員の活躍を中心に成功させます！



委員会活動 Committee activities

私たちでつくる学校生活

委員会活動では、自分たちでできることで学校行事のサポートやすこしやすい学校生活を目指して活動しています。そんな活動をご紹介します。



図書掲示委員

図書掲示委員会では図書係と掲示係に分かれて活動しています。前期は1～3組が図書係、4～6組が掲示係を担当し、後期は交代します。図書係は主に図書室の開室作業、掲示係は校内の掲示物の貼り出しや新聞の入れ替えを担当しています。

図書室は毎週火、水、金曜日の昼休みに開室しています。開室日には、各学年の代表者が校内放送で「今日は図書室開室日です」と案内します。開室作業はクラスごとに担当し、入室手続きを行ったり、カウンターで本の貸出し、返却作業を行ったりしています。また、自分の好きなおすすめ本を紹介するためのPOPを作成し、色々な本を手にとってもらえるように工夫しています。掲示係では、図書室の利用を勧めるためのポスターもつくりました！

卒業生 INTERVIEW

卒業して3年 ぼくは、ここで働いています。

就労して何年？

3年目です。いい先輩たちに囲まれて仕事もしやすいです。

たまがわの思い出は？

美術部で好きな絵を描いて、皆にも絵を見てもらえて楽しかったです。

印象に残る先生は？

美術部の井田先生です。優しい先生で僕の絵をよく褒めてくれました。好きなアニメの話も聞いてくれました。

働き出して自分が成長したことは？

考えたことを口だけでなく実際に行動に移せるようになったことです。職場では考えているだけでなく、周りの方とも相談しながら仕事の仕方を改善しています。

未熟だと思うことは？

時々、思い込みで仕事を進めちゃうことです。やっぱり確認は必要ですね。

働いてよかったこと・大切にしていることは？

仕事を頑張れば頑張るほど実力がつくことです。また、ミスしないことを大切にしています。同僚の方や、お客様に迷惑をかけないようにしています。

初めての給料は？

好きなヒーローモノのグッズを買いました。後は家族に食事をご馳走しました。

趣味や休日の過ごし方は？

自分でアニメを自作したり、絵を描いたりしてます。アニメは2週間で15分くらいのもを作ります。休日もしっかり寝る(笑)

将来の夢は？

これからも仕事を続けて、趣味を楽しんでいきたいです。

たまがわの後輩へ就職する上で大切なことは？

仕事で不安になっても前向きに考えてください。そしてそれを行動に移せばきっとうまくいくと思います！

上司&スタッフより

出野さんがしている仕事内容について教えてください。

主な仕事はピッキング・梱包作業になります。昨年までは、入荷検品をしていました。

どんな社員ですか？

仕事は丁寧で正確にこなすことができます。朝礼のあいさつも一倍大きな声を出していて気持ち良く1日が始まります。

今後どのような働きに期待していますか？

現状はまわりからの指示で作業していますが、将来は自ら率先して業務を把握して主体的に活動する事を期待しています。



8期生 出野 翔大さん
本校在学中は福祉・園芸科に所属。在学中から挨拶・返事や言葉遣いを常に意識し、部活動では、美術部に在籍し、部長としても活躍していました。常に笑顔で周りの生徒とも接してくれ、クラスのムードメーカーでした。



休日の趣味のイラストを携帯で見せてくれました。

第58回 大阪府立高等学校

保健研究発表大会 Report

日常の生徒の保健活動と研究についての発表を通して府立高等学校、支援学校における学校保健の充実をはかるための大会に本校も参加してきました。今年で11回目の参加です。

今回のテーマは「生活習慣病」。

本校では、毎日の健康チェックや、毎月の体重測定があるので、たまがわの生徒は自分の身体の変化をすぐに知ることができます。

今の生活のままでも将来も健康で元気にいられると思っている生徒は多いと思います。けれども、夏休み後すぐにおこなわれた「生活習慣に関するアンケート」では、生活習慣に関する課題もたくさんありました。

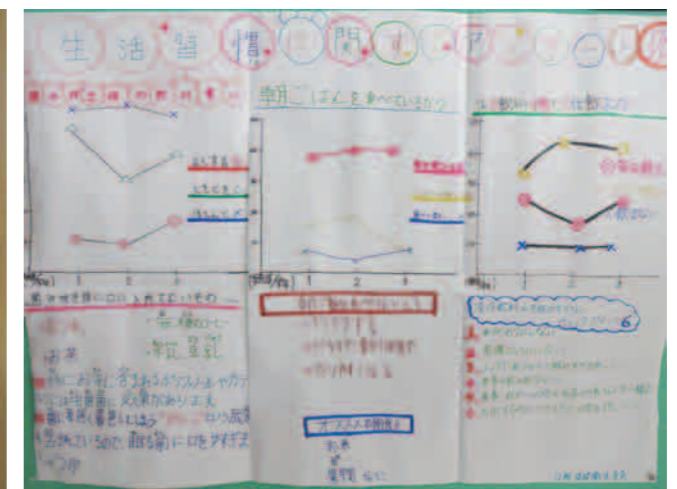
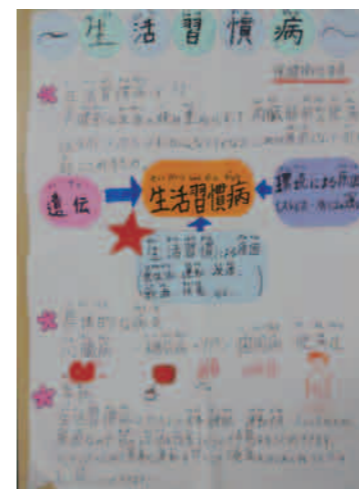
そこで、保健の授業で勉強した内容をもとに「生活習慣病とは何か」ということについて、インターネットを使って調べ学習をしました。

「生活習慣病」は「バランスのとれた食事や運動をおこなうことが大切」ということ、「日々の生活を改善することで予防することができる」病気ということが分かりました。また、むし歯や歯周病なども影響していることが分かりました。



これらの保健衛生委員で調べたことは模造紙にまとめて文化祭で展示したり、昼休みの校内放送で呼びかけたりしました。

「生活習慣に関するアンケート」では、たまがわの生徒は「夜寝る前に歯をみがいた後、飲食するか」という項目に「する」とときどきする」と答えた人がたくさんいました。夜歯磨き後に飲食をしてそのまま寝てしまうと、虫歯や歯周病が増えたり、口臭がきつくなる原因にもなります。



また、ジュースなどの清涼飲料水は、肥満の原因になりやすいですが、日頃ジュースなどを「よく飲む」「ときどき飲む」と答えた人も多くいました。ジュースにはたくさんの砂糖が含まれていて、とりすぎるとメタボリックシンドロームといわれる「糖尿病」「高血圧」などの大きな病気にもつながります。また一方で、お茶や水には、食べ過ぎを防いだり、血流をよくする効果があるそうです。

これから将来、健康で働き続けるためにも、このような生活習慣は普段の生活から気をつけてもらいたいと思っています。

模造紙にまとめた内容は、毎月更新の「生徒保健たより」でお知らせしました。

少しだけ、意識して生活すれば、生活習慣病のリスクは低くなります。保健衛生委員会の活動が、少しでも自分の健康管理に関心を持ち意識して生活に活かしてもらえると嬉しいです。

これからも授業や職場実習、クラブ活動を通じて健康な身体づくりをめざします。そして、正しい生活習慣を身につけた上で、就労して自立してほしいと思います。



出野さんの勤務先(社屋)

YKK株式会社 本社:東京都千代田区神田和泉町1
出野さんの勤務先:YKK株式会社 ファスニング事業本部 ジャパンカンパニー ロジスティクス課 大東物流
大東物流では、37名のチームのうち、出野さんを含んだ2名の障がいのある方が働いています。

YKK株式会社はスライドファスナー、面ファスナー「クイックロン」、繊維テープ・樹脂製品、スナップ&ボタン等のファスニング商品を製造・販売している会社で、グループ会社は73ヶ国/地域にて事業を行っています。
YKKグループはダイバーシティ推進を重要な経営課題の一つと位置付け、社員一人ひとりが、性別・国籍・障がい等を意識せずに、それぞれの力・持ち味を発揮できる風土を目指しています。多様な人材のうち、全従業員の2.36%(2018年6月末時点)の方が障がいを持ちながらも活躍しています。YKKグループにはYKK六甲という印刷会社があり、障がいのある方が数多く働く特例子会社となっています。YKK六甲以外でも障がいのある方が様々な部署でイキイキと働いています。



年に1回の共同制作では、たまがわフェスティバルに向けて全員で協力して大きな作品を作ります。



ART 美術部

平成30年度は3年生10名、2年生5名、1年生7名の合計22名の部員がいます。基本的には週に1回のペースで活動しており、運動部とのかけもちをしている生徒も多いです。2年生や3年生から入部する生徒もいて、皆で楽しく活動しています。

ARCHIEVES 活動実績 ・SOMPOパラリンアートカップ2017 損保ジャパン日本興亜賞 受賞



個人制作では自分の好きな作品を作ります。作品の種類はイラスト、版画、切り絵、粘土作品、段ボールアートなどです。



ARCHIEVES 活動実績

・第65回全国高等学校剣道大会大阪府予選(インターハイ予選)出場
・たまがわフェスティバル文化の部にて舞台発表

剣道部

少ない部員ではありますが、一人一人の技量に合わせて一級や初段の取得、大会出場など目標を定めて稽古しています。

今年もインターハイ予選に出場をするなど対外的な活動も行なっています。



KENDO

入学後に初めて剣道を始めますが、一人一人の技量に合わせて一級や初段の取得、大会出場など目標を定めて稽古しています。今年もインターハイ予選に出場をするなど対外的な活動も行なっています。

RACKET SPORTS



<バドミントン>
高津高校との交流試合

ラケットスポーツ部

ラケットスポーツは、バドミントン・卓球のパートに分かれ、技術の向上と人間的成長を目標に行っています。日々の努力が積み重なり、大会では優秀な成績をたくさん修めています。



<卓球>
障がい者スポーツ大会 大阪
スポーツフェスタ2018

主に平日の放課後に練習をしています。日々の練習以外にも様々な取り組みをしています。<卓球・バドミントン>になにわ支援高等学校・すながわ高等支援学校との交流試合

ARCHIEVES 活動実績

<卓球> ・2018年度障がい者スポーツ大会 大阪 女子シングル少年の部 優勝
・スポーツフェスタ2018
・2018年度 福井国体 女子シングル少年の部 優勝